

(6) 愛知県名古屋市鶴舞中央図書館

愛知県名古屋市図書館協議会・児童図書選定協議会

－「市立図書館と学校図書館との連携のあり方について」（名古屋市図書館協議会作成）に見られる連携事業の実際－

【名古屋市図書館協議会と児童図書選定協議会】

1 名古屋市図書館協議会

(1) 概要

昭和 44 年 3 月 27 日の名古屋市図書館協議会条例により設置される。事務局は、名古屋市鶴舞中央図書館に置かれ、庶務を行っている。学校関係者、社会教育関係者、学識経験者などから、10 人の委員が選出される。

平成 21 年度は、4 回開催し、主に、名古屋市図書館中期計画・名古屋市図書館サービス計画における重点事項（目標）・運営状況の評価と改善などについて、審議を実施した。

(2) 「市立図書館と学校図書館との連携のあり方について」

平成 21 年 1 月に名古屋市図書館協議会は、小中学校図書館と名古屋市図書館の連携を推進するために、「市立図書館と学校図書館との連携のあり方について」を発行した。

その中で、市立図書館と学校との連携事業の現状については、「図書館司書がブックトークに出向いた校数・件数・人数の推移」、「図書館訪問実施の校数・件数・人数の推移」、「職場体験学習実施の校数・件数・人数の推移」について、過去 4~5 年のデータをもとに分析するとともに、それぞれ 1 校ずつの小中学校に出向き、図書館活動の調査を実施した事例について報告している。また、市立図書館と学校・学校図書館との連携の問題点と課題を 5 点明らかにし、さらに、これからの連携のあり方（後掲）について、3 点を挙げ、連携に向けた具体的な事業展開計画を示すなど、一つの地方自治体が、自らの設置する市立図書館と学校図書館の連携を推進するために、独自の調査を実施し、連携の方策について明らかにしている点が注目される。

2 名古屋市児童図書選定協議会

(1) 概要

昭和 31 年 1 月に発足した。協議会の庶務は鶴舞中央図書館が行っており、校長、幼稚園教諭、小中学校教諭、有識者、教育委員会職員から 37 名以内の委員が選出され、主に、小中学校向け図書の選定と選定図書の普及に関する審議を行っている。

(2) 「選定児童図書目録」の発行

平成 21 年度には、11 回の選定会を実施した。平成 21 年 1 月から平成 22 年 3 月までに選定された図書は 105 点で、それらをまとめた「選定児童図書目録（平成 21 年度版）」が最新刊となっている。

学校（幼稚園）・行政・図書館のそれぞれ異なる立場の委員が、年に何度も顔を合わせて情報を交換・共有する場となっており、連携を推進していく上でプラスの要素となっていることは想像に難くない。

※また、選定児童図書目録とは別に、名古屋市教育委員会では、平成 21 年度に「なごやっ子のおすすめ 100 冊（小学生版）」、平成 22 年 4 月には「なごやっ子のおすすめ 100 冊（中学生版）」を発行するとともに、HP でも紹介している。

【連携事業の実際】

1 連携事業

(1) 学校訪問

子どもの頃から本に親しむ習慣を身につけてもらうため、職員（司書等）が直接、小・中学校に出向いて、ブックトークや読み聞かせなどを行う事業を展開している。この事業は、平成15年度から教育委員会の「その道の達人派遣事業」として実施されている。平成21年度は市内の小・中学校など117校975クラスに対して、のべ635回の派遣が実施された。

(2) 図書館訪問

図書館の見学や調べ学習などの目的をもって、学年単位、クラス単位での来館が多い。各々の求めに応じて、館内見学ツアーやストーリーテリングの実施など学習の援助を行っている。

平成21年度は市内の小・中学校、のべ94校の訪問があった。

(3) 職場体験

職業体験学習の場として、主に中学生を受け入れ、カウンター業務など図書館の仕事を実際に体験してもらっている。この就業体験を通じて、図書館をより身近な施設として捉え直す機会にもなっている。平成21年度は市外の中学校や高校も含め、66校（のべ87回）の生徒251人が体験した。

(4) 団体貸出

学校（小・中・高）に対しては、調べ学習に使用する資料や授業に必要な資料の貸出を、最大300冊、3か月（HPでは「1か月程度」となっている）を上限に実施している。平成21年度には、のべ113校、747回の利用があった。

2 その他、子ども読書活動の推進（「名古屋市子ども読書活動推進計画」の事業）

(1) はじめての本との出会い事業

保健所の乳幼児健診時に絵本の紹介や読み聞かせを行うもので、今年度は絵本の紹介冊子を3種類作成し、全保健所の健診時に配布した。また、楠図書館をはじめ5館でボランティア養成講座を開催した。

(2) 子ども図書館大使

市内の小学生15名を「子ども図書館大使」に任命し、図書館の仕事を体験し、学校へ戻って図書館の魅力を伝える活動を行った。（平成19年度より実施）

3 これからの連携のあり方について（課題）

(1) 人の連携を組織する

・人の連携の組織化 •インターネットの活用

(2) 資料を共有化する

・情報化の推進 •インターネットの活用
・物流システムの確立

(3) 情報の共有と蓄積と公開

・インターネットの活用 •資料の充実

※インターネットの活用について、図書館HPには「図書館が学習のお手伝いをします～学校の先生方へ～」というメニューが設けられ、Q&A方式で連携に関する疑問に答えている。

【参考資料】

(1) 名古屋市選定児童図書目録



(2) 名古屋市図書館HP

子どもページトップ > 学校の先生へ

学校の先生へ

- * 地域の施設見学に図書館へ行きたいんだけど
- * 「公害」の本を探しているんだけど、学校には本が少なくて
- * 学校で読み聞かせなどをしてほしい
- * 学校図書室にどんな本を選べばいいか、参考にしたい
- * 施場体験をさせたい
- * ブックトーク＆読み聞かせ～その道の達人派遣事業～

施設見学の一つに、図書館を選ばれたら

見学の日時を、お知らせください。施設案内、図書館の利用方法の説明、読み聞かせなどもいたします。

[小学校高学年向け図書]

他に、小学校低学年向け・中学年向け中学生向けのページがある。

小学校高学年むき

ヘンリー・フランの誕生日

エレン・レヴァイン／作 カディール・キルソン／絵 千葉茂樹／訳
講木出版
¥1,900 え
978-4-7902-5194-1
小高 一般 小図

収録ヘンリーの小鳥のように自由になりたいという願いをかなえる方法は、自分を小包にして迷うこと、27時間使い木箱の中で、声も立てずトイレに行く行かず耐えぬいた実在の人。力強く主張ある絵本。

ああ保戸島国民学校

小林しげる／作 野野富貴子／絵
文研出版
¥1,300 913
978-4-580-82064-7
小高 一般 小図

敗戦間近の1945年7月、大分県の保戸島の国民学校が爆撃され、授業を受けていた児童百数十人が犠牲になるという痛ましい歴史を基に戦争の悲惨さをえがいた話。小学校の日線で戦争の恐ろしさを体験できる。

あいたい

光丘真理／作 武田綾子／絵
文研出版
¥1,300 913
978-4-580-82065-4
小高 中学 一般 小図 中図

大好きな若女将の明子が突然亡くなり、悲しみのあまり声が出なくななる美妙「あいたい」という伝言の謡を解くため、明子の人生をたどる。障害を乗り越え、人々愛して明子の生き方を知った美妙の、心の成長物語。

風の靴

朽木祥／作 補服華奈子／挿絵
講談社
¥1,600 913
978-4-06-214994-5
小高 中学 一般 小図 中図

中学受験に失敗した少年、海生が、おじいちゃんのヨットで、親友とその妹と愛犬で出かける。海の上で、「ぼくが、風を見、風を聞き、風を読む。自分で進路を決めるんだ」と気づく。風に靴をはかせるのは、自分だと。

[教師向けメニューのQ&A]

▲このページのトップへ

学校の先生へ

調べ学習のために、図書館で本をさかして調べたい時

何に関する本をお探しか、お知らせください。図書館で本を集めておきます。団体貸出もできます。(ヶ月程度お貸します)

▲このページのトップへ

このページのつづきへ

図書館職員に学校へ来てもらい、ブックトークなどをしてほしい

希望日時をお知らせください。読み聞かせ、ブックトーク、アニメーションなど、何をやるかご相談します。費用はかかりません。

くわしくは、下記の「ブックトーク＆読み聞かせ～その道の達人派遣事業へ」をごらんください。

▲このページのトップへ

館名 : 名古屋市鶴舞中央図書館

所在地 : 〒466-0064 愛知県名古屋市昭和区鶴舞一丁目1番155号

TEL : 052-741-3133

FAX : 052-733-6337

設置年 : 大正12年

設置主体 : 愛知県名古屋市

ホームページ : <http://www.library.city.nagoya.jp/>

利用者数 : 約31万人 (館外利用者)

蔵書数 : 約121万6千冊

貸出数 : 約86万5千冊 ※データは全て平成21年度のもの

